

平成 31 年度静岡市協働パイロット事業 課題テーマ一覧

平成 31 年度協働パイロット事業においては、各事業担当課から計 6 件の課題テーマが提示されました。

以下の内容をご確認いただき、静岡市の抱える課題解決のため、貴団体の力をお貸しください。なお、課題テーマの詳細や、相談については、直接各事業担当課にお問い合わせください。

No.	課題テーマ	事業担当課
1	市民の運動・スポーツの実施率向上につながる「アーバンスポーツ」事業について	スポーツ振興課 (054-221-1038)
内容	<p>本市では、スポーツの推進による健康で豊かな生活の実現を図るため、「市民一人 1 スポーツ」を目標に、スポーツの実施率向上を図っています。</p> <p>近年、若者に人気の都市型スポーツである「アーバンスポーツ」が盛り上がり、本市としても「アーバンスポーツ」がスポーツ実施率の向上及び賑わいの創出に寄与することを期待しています。</p> <p>そこで、貴団体が持つノウハウや経験を活かし、アーバンスポーツ事業の事業提案を募集します。</p> <p>また、本事業により「アーバンスポーツ」への理解を深め、参加者へのアンケート等によりニーズ調査を行い、今後の本市の事業展開の参考にするとともに、市民スポーツとして定着していくのかの可能性を検証したいと考えています。</p> <p>【期待する事業提案】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 清水駅東口にあるクライミング場を使ったスポーツクライミングイベント 2 東静岡アート&スポーツ/ヒロバを使ったアーバンスポーツイベント <p>※「アーバンスポーツ」とはスケートボード、インラインスケート、BMX、スポーツクライミング等の都市型スポーツを指します。</p>	

No.	課題テーマ	事業担当課
2	特定外来生物の根絶を目指して ～三保地区編～	環境創造課 (054-221-1319)
内容	<p>本市では静岡市生物多様性地域戦略に基づき、専門家の意見を聞きながら、庁内関係課や市民団体等と連携して特定外来生物の防除など生物多様性の保全に係る取組を実施しています。</p> <p>今年度は三保地区に特定外来生物のセアカゴケグモの生息が確認されており、その対策が喫緊の課題となっています。また、特定外来生物のオオキンケイギクの生息も確認されていることから、併せて防除活動を展開する必要があります。</p> <p>三保地区は松原が世界遺産の構成資産に登録されて以降、観光客が多く訪れていて、3月30日から直営の「三保の松原文化創造センター」がオープンを予定しています。</p> <p>セアカゴケグモの繁殖地となる前に、貴団体が持つノウハウや経験を活かして、特定外来生物の根絶を目指し、観光地としての魅力を高める事業提案を募集します。</p>	

No.	課題テーマ	事業担当課
3	ようこそ「しずおか暮らし」へ～移住歓迎プロジェクト～	企画課 (054-221-1240)
内容	<p>本市では、人口減少対策の一環として、首都圏からの移住促進に取り組んでおり、平成27年4月、東京・有楽町に「静岡市移住支援センター」を開設し、移住相談を実施しています。</p> <p>しかし、移住希望者に対し、相談から下見、体験、移住後のフォローといったきめ細かな対応は行政だけでは難しく、相談段階でのより具体的な地域情報の提供、移住者を受け入れるための地域の体制作りが求められています。</p> <p>このような課題を解決するために、NPOとの協働事業に取り組むたいと考えます。移住者の不安を取り除き、移住後も地域へスムーズとけ込めるよう、移住者に寄り添った提案を募集します。</p> <p>例えば、地域の暮らし方について、実際に地域に住んでいる方や移住者を受け入れている方目線でのガイドブック制作、首都圏での移住セミナー・交流会の実施など、NPOならではの経験、アイデアを活かした提案をお待ちしています。</p>	

No.	課題テーマ	事業担当課
4	「しずまエリア」の交流人口拡大に向けた企画・実施	水産漁港課 (054-354-2337)
内容	<p>本市では、静岡市の沿岸地域を「しずまえ」、ここで水揚げされる魚介類を「しずまえ鮮魚」と呼び、「しずまえエリア」が水産物のおいしい地域というイメージを全国に定着させるとともに、漁業、加工業、流通業、飲食業、小売業、観光業など、「しずまえ」に関わる産業や地域を活性化させ、交流人口の拡大を目指しています。</p> <p>この実現のため、静岡市しずまえ振興協議会を立ち上げ、港ごと、それぞれ「由比・蒲原地区部会」、「清水地区部会」、「用宗地区部会」と3つの地区部会において地域の皆様とともに、「しずまえPR事業」を推進しているところです。</p> <p>平成31年1月に市が発表した市民意識調査では、「しずまえ」の認知度が50%を超えました。</p> <p>このように、市民の半分以上が認知している「しずまえ」ですが、まだまだ当初の目的である「しずまえエリア」の交流人口の拡大にまで至っていません。</p> <p>そこで、市民活動団体の皆様の柔軟な発想とネットワーク、そして行動力により、「しずまえエリア」が水産物のおいしい地域というイメージを発信するとともに、交流人口の拡大に向けた企画を立案・試行していただきたいと思ひます。</p>	

No.	課題テーマ	事業担当課
5	自主防災会における女性リーダーの育成	男女参画・多文化共生課 (054-221-1349)
内容	<p>東日本大震災等において、避難訓練時や実際の被災時に女性の声をまとめられる女性リーダーがいなかったことから、「避難所生活での必要な情報や物資が届かない」、「性被害にあう」、「社会復帰等が遅れる」等、様々な課題が残されました。また、リーダーが男性に偏ることで、男性の負担が大きくなり、過労、自殺などに繋がる例もあります。</p> <p>地域の防災活動における男女共同参画を推進するため、災害が起こる前から、自主防災組織に女性が加わり、男性とともに防災について学び備えることが重要であり、以下のとおり事業を募集します。</p> <p>①女性視点の防災に関する講習（男女共同参画の視点を持った団体であること。また、被災地の男女共同参画関連組織等にネットワークがあり、より具体的な内容の講習が可能である団体であることが望ましい。）</p> <p>②講習後、参加女性たちが、地域の自主防災組織に参画していくためにはどのようなアプローチが有効であるか、提案をお願いしたい。</p>	

No.	課題テーマ	事業担当課
6	減らす？増やす？管理する！湿生植物の植生管理方法の模索	緑地政策課 (054-221-1251)
内容	<p>現在静岡市では、地域の活性化と市民の憩いの場の提供を目的として麻機遊水地第1工区にあさはた緑地を整備しておりますが、遊水地はもともと低湿地であることから、陸域ではヨシ、オギ等が、水面部分ではヒメガマ等の湿生植物が多く繁茂しています。</p> <p>現況では都市緑地の景観を阻害し、水面の有効活用もままならないばかりか、希少植物の生息域を侵食して淘汰したり、ガマの穂の飛散や腐敗した植物の悪臭など周辺住民にも深刻な悪影響を及ぼしており、さらには堆積した植物による水面の陸化は遊水地の本来目的である治水にも影響が懸念されており、喫緊の対応が要求されています。</p> <p>現状は陸域の草刈を業務委託と地元ボランティアで行っておりますが、水面は物理的に草刈が行えず、陸域の草刈は毎年数百万円を費やしても数カ月で再生するため対処療法に過ぎず、人力では作業者の負担が大きく、機械による除去も難しく根本的な対策が求められております。</p> <p>湿生植物の適正管理を行うことにより、希少植物の生育環境を保護し、市民に対し水辺の環境による憩いの空間を提供したいと考えております。</p> <p>この問題は河川・池沼を管理する全国の国・地方公共団体も認識しており、解決手法をパッケージ化すれば商品としてのニーズも見込めるものと考えます。</p>	